

コメントの概要及びコメントに対する金融庁の考え方

No.	コメントの概要	金融庁の考え方
I. はじめに		
1	「情報セキュリティを含むシステムリスク」とあるが、IT ガバナンスに情報セキュリティは含まれるという意味か。	IT ガバナンスには、「IT リスク」が要素として含まれており、情報セキュリティリスク（サイバーリスク含む）の低減及び管理も非常に重要な論点であると考えています。
IV. 金融機関における IT ガバナンス		
2. 深度ある対話に向けた基本的な考え方・着眼点		
(1) 経営陣によるリーダーシップ		
2	「IT リテラシーとデジタルリテラシーの向上」とあるが、境界領域が多いと考えるがそれぞれのリテラシーの定義は明記されるのか。	IT リテラシーは情報技術・IT システムを活用する能力、デジタルリテラシーは先進的なデジタル技術を活用する能力を指します。本文書で特に定義いたしません。リテラシーが境界領域で重複していても問題は生じないと想定しています。経営陣が IT・デジタルに係る案件を評価、監督する上で、「不足するリテラシー」がないよう意識して取り組んでいただくことが重要であると考えています。
(2) 経営戦略と連携した「IT 戦略」・「DX 戦略」		
3	「投資余力が限定的な場合、単独で実行すると過剰投資になる恐れがある。そうした状況下では、他行と連合して共通要件を見定めつつ、各種機能の共同利用や適したプラットフォームに相乗りすることが考えられる」とあるが、業界団体等と連携して業界としての”共同システム”化を視野に入れた取り組みも積極的に論議していくことを推奨するということか。	デジタル技術の活用は他社との差別化だけでなく、投資採算性も考慮して実行することが重要であると考えています。投資余力が限定的な場合は、業界団体等との連携によって業界の共通機能・基盤となり得る要件を整理し、共同開発を検討することも一案と思われます。その場合、各社の IT コスト削減に寄与するものと想定されます。
4	「既存事業の構造改革において、事業部門に可能な限り権限委譲し、小さく始めて改善を繰り返すアジャイル・アプローチによって、柔軟かつ迅速に対応する事例がみられる」という記載があるが、権限移譲の範囲や開発環境の整備標準化等について、具体的な内容を知りたいため、今後の「事例集」の改訂等で事例追加を検討していただきたい。	貴重なご意見をありがとうございます。今後の事例集の改訂における参考とさせていただきます。

コメントの概要及びコメントに対する金融庁の考え方

No.	コメントの概要	金融庁の考え方
(6) 適切に管理された「IT リスク」		
5	「データ利活用による顧客への新たな価値の提案や AI 分析等が行われているが、データの品質・信頼性が低い場合には誤った出力結果となるリスクがある。蓄積した元データを適宜補正・加工することによって、セキュリティを確保しながら品質を高める必要がある。」との記載について、蓄積したデータの補正・加工が品質を高めるだけでなく、セキュリティの確保にも繋がる理由について補足がほしい。	金融機関のデータ利活用において機密性の高いデータが含まれている場合には、匿名加工情報になるような適切な加工（マスキング処理・編集処理など）により、セキュリティ対策を行うことが重要であると考えています。また同時に、データの品質・信頼性が低い場合には誤った出力結果になるリスクがあるため、重大な欠損や誤りのない正確なデータに補正・加工する処理が必要となります。当庁の意図はご理解いただけるものと考え、原案通りとさせていただきます。
3. その他の論点		
6	「大手金融機関におけるグローバル IT ガバナンス」におけるグローバル IT ガバナンスとはどのようなものを指しているか。	グローバルにビジネスを行う金融機関における、海外拠点（現地法人及び海外支店等）、海外グループ企業等を含めた IT ガバナンスのことを念頭においています。有識者や金融機関との対話を今後も継続していきます。
その他		
7	今後貴庁が提示する文書全般に関し、「IT ガバナンス」の定義は本文書と同じものになるのか。	本文書を参照している文書や箇所については、同じ定義になります。本文書以外では、当該文書で示している定義をご参照ください。
8	今回以降の改訂の中で「データガバナンス」や「AI ガバナンス」、また、急速に広まりつつある「生成 AI」に関する考え方についても、記載の追加を検討していただきたい。	貴重なご意見をありがとうございます。今後の参考とさせていただきます。生成 AI の懸念・リスクについては、内閣府の AI 戦略会議で論点整理が現在行われています。こうした検討結果を踏まえて、本文書への追記等も検討いたします。